

人間環境学部

講義番号	E-1
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	岩田 裕樹
講義テーマ	経済学からみる環境問題
内容紹介	現在の社会は、地球温暖化、オゾン層の破壊、大気汚染、有害化学物質の問題、廃棄物問題など様々な種類の環境問題を抱えています。こうした環境問題はなぜ発生するのか、またなぜ速やかに解決が行われないのか、これらの課題について本講義では、経済学という観点から概観することを主たる内容とします。
必要な機材など	プロジェクター・スクリーン
出張講義可能日	金曜日午後(要相談)
オンライン対応可否	可

講義番号	E-2
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	緒方 知徳
講義テーマ	環境変化と生体応答
内容紹介	私たちの生活を取り巻く環境は常に変化しています。例えば、季節によっては朝と夜の気温が20度近く違うこともありますが、私たちの身体の体温は様々な仕組みを通して常に一定になるよう調節されています。本講義では、私たちの身体が生体内外の環境変化(気温、運動、食事など)に対してどのように応答しているかを学びます。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	前期:月曜日, 火曜日, 金曜日 後期:金曜日, 水曜日は前後期ともに応相談
オンライン対応可否	不可

講義番号	E-3
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	奥田 圭
講義テーマ	野生動物の生態と管理
内容紹介	野生動物は一体どのような生活をしているのでしょうか？野生動物による農林業被害等の諸問題が深刻化してきていますが、彼らとどのように対峙していけば良いのでしょうか？彼らの知られざる生態に迫るとともに、野生動物と人間社会との関わり合いについて考えます。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	可

人間環境学部

講義番号	E-4
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	川村 邦男
講義テーマ	自然科学と技術から考える環境問題
内容紹介	約46億年前に太陽系が誕生し、生命は40億年以上も前に海で誕生したと考えられています。その後さまざまな生物が進化し、人類が出現したのは地球の長い歴史から見るとごく最近のことであると言えます。その人類は文明をつくり、産業革命を経て便利で快適な暮らしを手に入れました。しかし一方で環境を悪化させ、文明を支える化石燃料資源も徐々に枯渇していき、人類社会は今後も持続可能であるかが危ぶまれています。この講義ではこのような長い時間スケールで生命と人類を考え、現状の環境問題を自然科学と技術の視点で概説します。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	火曜日(要相談)
オンライン対応可否	不可

講義番号	E-5
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	佐々木 緑
講義テーマ	食料生産と環境問題
内容紹介	私たちの食卓に出るたくさんの食べ物は、大量の水を利用して作られています。食料自給率(カロリーベース)の低い日本は、他国の広大な土地や大量の水という資源を使って作られた食べ物に依存しているのです。世界の人口は現在80億人を超えましたが、これらの人々を支える食料を作る農業現場ではどのような問題が起きているのでしょうか。本講義では、食べるという行為が農業、ひいては環境に及ぼす影響について解説します。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	水曜日(応相談)
オンライン対応可否	可

講義番号	E-6
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	下村 英嗣
講義テーマ	環境リスク管理と環境法
内容紹介	今何がどう起きているのか、将来に何がどう起こるのか。不確実な環境問題に法律はどう対応し、対応しようとしているのかについて講義します。
必要な機材など	
出張講義可能日	水曜日午後
オンライン対応可否	不可

人間環境学部

講義番号	E-7
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	豊澄 智己
講義テーマ	環境ビジネス
内容紹介	環境が企業経営にとって無視できないことをしていますか。それと同時に、企業は環境を上手に経営戦略上に組み入れることで、大きな利益を獲得できる可能性があります。本講義では、今後更に強まると考えられる環境政策を、仕方のない厄介なものであると見なすか、あるいはビジネスチャンスをもたらすものであると見なすかを考えて欲しいと思っています。
必要な機材など	
出張講義可能日	火曜日
オンライン対応可否	不可

講義番号	E-8
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	羅 星仁
講義テーマ	持続可能な発展とは
内容紹介	持続可能な発展という概念が出てからのその解釈を巡る諸説について解説します。また、ミレニアム開発目標(MDGs)と持続可能な開発目標(SDGs)についても主な内容を説明します。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	可

講義番号	E-9
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	中園 篤典
講義テーマ	日本語を書くトレーニング
内容紹介	「どうすればよりよく読めて書けるようになるか。」「何に気をつけ、どんな姿勢で文章に取り組みやすいのか。」これは『日本語練習帳』を始めとした日本語関連本に共通するテーマです。この問題について、大学生による様々な文章例を元に、実習形式でお話しします。
必要な機材など	
出張講義可能日	月曜日
オンライン対応可否	可

人間環境学部

講義番号	E-10
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	西村 仁志
講義テーマ	SDGs時代の環境教育
内容紹介	「環境教育」とは、環境へのセンスとマインドを養い、未来の「持続可能な社会」にむけた参加と行動を求める新しい教育です。「環境教育」は学校のほか、地域や企業などでも取り組まれるようになってきました。「国連持続可能な開発目標(SDGs)」の時代を迎え、自然と親しむこと、環境とのバランスのとれた暮らし、そしてまちづくりや国際社会への貢献など、その範囲や射程は大きく広がっています。講義ではさまざまな環境教育をご紹介します、一緒にその意義について考えたいと思います。
必要な機材など	
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	可

講義番号	E-11
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	長谷川 弘
講義テーマ	水力発電ダムから考える環境とエネルギー問題
内容紹介	環境破壊のシンボリックな構造物であるダムについて、その歴史や役割、地球温暖化や気候変動との関わり、国内外の環境社会問題事例、そして今後の行方等を概説し、経済発展と環境保全の両立(持続可能な発展)の現状や課題について学んでもらうことを目指します。
必要な機材など	プロジェクター、VTR/DVD再生機器
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	不可

講義番号	E-12
学科 / 職位	人間環境学科 教授
講師名	宮坂 和男
講義テーマ	科学技術をめぐる今日の問題
内容紹介	地球温暖化の問題、原子力発電の問題など、環境問題として知られているものの多くは、科学技術の進歩から来ているものである。したがって、環境問題について考えるためには、科学技術の現在のあり様のことを知らなければならない。また、今日の科学技術は、企業の利益追求や国家の政策と深く関わって、非常に特殊な仕方では営まれている。本講義では、今日の科学技術のあり方が、いかなる点で特徴的になっているかを見る。
必要な機材など	プロジェクター・スクリーン
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	不可

人間環境学部

講義番号	E-13
学科 / 職位	人間環境学科 准教授
講師名	岡西 政典
講義テーマ	海洋環境と生物
内容紹介	海は地球の面積の七割を占めており、様々な生物が住んでいます。近年、海洋プラスチック問題などが取りざたされますが、実際の生物への影響は未解明です。本講義では、多様な海洋生物を紹介しつつ、環境汚染が海洋生物に与えている影響や、その保全の方法について考えます。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	可

講義番号	E-14
学科 / 職位	人間環境学科 准教授
講師名	松川 太一
講義テーマ	コミュニケーションと合意形成
内容紹介	環境問題の解決をめざす取り組みなど、人びとが協力して何かに取り組む時には合意形成が必要です。しかし「賛成」と「反対」のように意見が対立する人どうしがコミュニケーションをとることは簡単ではありません。講義では、対立をのりこえて合意形成をめざす時に気をつけておきたいことについて考えます。
必要な機材など	
出張講義可能日	水曜日、木曜日、金曜日(いずれも要相談)
オンライン対応可否	可

講義番号	E-15
学科 / 職位	人間環境学科 准教授
講師名	宮川 卓也
講義テーマ	科学技術って何だろう？
内容紹介	現代社会のさまざまな場面で登場する科学技術について私たちはどれだけ理解しているでしょうか？科学は万能で、生活を豊かにしてくれて、何かスゴイ。それだけでしょか？専門家じゃないから難しくよくわからない。それでいいのでしょうか？科学技術の専門家ではない立場から、科学技術とは何かについて考えます。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	月曜日・水曜日・金曜日(午後)
オンライン対応可否	可

人間環境学部

講義番号	E-16
学科 / 職位	人間環境学科 助教
講師名	白石 智宙
講義テーマ	日本の森林を考える
内容紹介	日本は、一部の平野を除けば、見渡す限り森林です。またその平野での暮らしを含めて、森林が生み出す「木」をはじめとするサービスは、我々の暮らしに欠かせないものです。森林の利用がどのような歴史を経て現在に至ったのか、また森林が現在抱えている問題は何かを学びます。
必要な機材など	プロジェクター・スクリーン
出張講義可能日	木曜日、金曜日(要相談)
オンライン対応可否	可

講義番号	E-17
学科 / 職位	人間環境学科 助教
講師名	鈴木 智也
講義テーマ	DNAから紐解く日本列島の生物多様性
内容紹介	日本列島は世界の生物多様性ホットスポットとされており、極めて多様な生物が生息しています。では、なぜ日本列島は多様な生物が生息しているのでしょうか？本講義では、DNA解析から解明されてきた日本列島の生物多様性創出機構について学んでいきます。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	可

講義番号	E-18
学科 / 職位	人間環境学科 助教
講師名	長谷川 尚弘
講義テーマ	情報技術を用いて生物進化を推定する
内容紹介	生物がどのように進化してきたかについては、われわれは実際に観察することはできない。古くは現生種間の形態の類似点・相違点に基づいて、その生物たちの進化の過程を推定していた。本講義では、実際の生物標本を観察することで、それらの生物の進化過程を推定してもらいます。その後、情報技術を用いた最新的手法による進化過程の推定結果と考えていただいた結果を比較します。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	可

人間環境学部

講義番号	E-19
学科 / 職位	人間環境学科 助教
講師名	永井 正太郎
講義テーマ	合理的な生活環境の設計は可能か 生活科学・人間工学の観点から考える人間環境学
内容紹介	現代社会では人工的な環境のもとで生活しているといっても過言ではありません。そのため、身の回りにある生活機器や道具を適切に設計することが、環境問題を解決するためには重要となります。本講義では生活科学という分野を通して、生活環境や生活機器の適切な在り方を考えると同時に、人間と道具の関係性について新たな視点を持つことを目指します。
必要な機材など	プロジェクター、スクリーン、(可能であれば)ホワイトボード
出張講義可能日	応相談
オンライン対応可否	可